



小麦粉粘土,紙粘土,油粘土...

粘土遊びのすすめ!

室内遊びが多くなる冬場、粘土遊びをおすすめします！粘土は、自由に形を変えて創造と破壊を繰り返すことができ、子どもにとって利点がいっぱい！



おすすめポイント

1 手先を鍛え、創造力や発想力が身に付く!

指先を動かすことは、道具（はさみ・お箸等）の使用、絵・文字の筆圧など様々な部分に影響を及ぼします。脳の刺激にも繋がり、意図しない形から新しい発想が生まれたり、作りだす意欲を生み出すこともできます！

2 集中力を高め、五感を磨く!

粘土の感触や創造する面白さを知り、「夢中になって遊ぶこと」を繰り返すことで、集中力を高められます。さらに「ぺたぺた」「にゆるにゆる」「ころころ」など粘土の形が変化する音を楽しむ（聴覚）と同時に、その動きに合わせたことば（オノマトペ）も一緒に使って刺激していきましょう。



"形ある何か"を作らず遊ぼう!

0～3歳児の粘土遊びは「何か作る」といった形にこだわらず、両手を使って、握りつぶしたり、ちぎったり、丸めたり…形が変わる感触を十分に楽しんでください。上記にあるように、オノマトペの表現も一緒に使っていくことで、遊びがどんどん楽しくなっていきます。大人も昔を思い出しながら子ども達と一緒にその感触をぜひ楽しんでみてくださいね！